

実施概要

都立江東特別支援学校は、平成28年度から小学部・中学部が分離し、高等部単独校となりました。

地域貢献活動としては、公園清掃(猿江公園、木場公園)や夢の島総合運動場の花壇の花植え、地域のお祭りでのダンス部生徒による日頃の練習の成果発表などがありましたが、高齢者福祉施設での社会貢献活動は初めてでした。

今回は、普通学級の教科「職業」として実施し、高等部職業学習類型2年生6名の生徒による活動としました。

らん花園は、平成12年に開設された特別養護老人ホームで、定員は100名です。江東特別支援学校とは今回が初めての交流となります。



ボウリングのペアで、ハイタッチ!

活動報告

実施日：10月19日(水)

生徒及び施設代表者による開会の挨拶により、スタートしました。

最初は、「相性ぴったんこゲーム」でペアを作り、その後、ペアになった者同士で自己紹介を行いました。

テーブルの上にボウリングのピンを並べ、ペアごとに投げていきます。利用者が1投目を投げ、残ったピンを生徒が投げて倒します。得点はあらかじめ用意した得点表に記入しました。次に、施設の職員のギター演奏のもと、全員で「上を向いて歩こう」を合唱しました。

最後に、生徒からの言葉、施設および学校からのお礼の言葉で閉会しました。

活動参加者 当校生徒…6人 引率教員…4人
内訳 交流先 利用者…26人 担当職員…6人

交通手段 当校とらん花園の距離はおよそ2km
バスで15分

当日のスケジュール

13:45 学校・施設・さわやか青少年センター・都教委、4者打合せ

14:15 開会・挨拶

14:20 相性ぴったんこゲーム

- ・ひもの両端を引っ張り、生徒と利用者のペアを作る。
- ・ペア同士で自己紹介する(名前、好きな食べ物)

14:25 テーブルボウリング・テーブルの上にピンを並べる。

- ・ペアの6チームが2回ずつ投げる。

(利用者→生徒の順 生徒は利用者が倒し残したピンを倒す。)

14:45 全員で歌「上を向いて歩こう」を歌う。

14:55 生徒からの言葉(感想) 閉会

活動のために準備したもの

- 相性ゲームで使用した箱(動物の絵)
- テーブルボウリング(ワクワクボウリング)で使用した得点表
- プログラムカード(プログラム・歌詞)
- 歌「上を向いて歩こう」の音源

工夫したところ

- 生徒のアイデアを生かし、手作りのものを用意した。
- 生徒が司会進行を行い、生徒の主体性を尊重した。
- 生徒が主体的に活動できるように、教員が支援した。

実施にあたって注意したところ

- 参加者全員が楽しめる内容にした。
- 利用者が、日頃活動されている内容(テーブルボウリング、歌「上を向いて歩こう」など)を取り入れた。
- 活動時間や内容など、利用者が負担とならないようにした。

良かったと思うところ

- 相性ゲームでは、生徒が制作した箱を持参し、ひもを引っ張りペア(動物名のチーム)を成立するようにした。
- ペア成立後、自己紹介(名前・好きな食べ物)を行ったことで、緊張感がほぐれた。
- ボウリングゲームでは、1投目:利用者、2投目:生徒と協力して取り組めた。
- 職員の方のギター演奏で全員が歌い、一体感が生まれた。

今後に向けての学校からの抱負

- 第2回目の交流を実施しました。生徒たちの主体的な学びを引き出し、これからも交流の輪を広げていきたい。
- 生徒たちの主体的な学びを尊重し、「人の役にたつ」経験を積むことを通して、自尊感情や自己肯定感を高め、地域社会の中で豊かな心を育てていきたい。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- 利用者や職員の皆さんに温かく迎えていただき、感激しました。一緒にゲームを楽しんでもらえるか心配でしたが、たいへん盛り上がり嬉しかったです。
- 歌「上を向いて歩こう」では、利用者の皆さんの横で歌詞カードを見ながら歌いました。交流の輪が広がり、笑顔がいっぱいになり、良かったです。
- 最後に花道で見送りをしてもらい、利用者さんと握手をしました。皆さんに喜んでもらい嬉しかったので、第2回目の交流をしたいと思いました。これからも人の役に立ち、感謝されることをしていきたいです。

教員

今回の交流学習に向け、生徒たちは互いに相談し、協力し合いながら活動の準備を進めてきました。どのような事が喜ばれるかを話し合う中で、一人一人の「相手を思いやる気持ち」が膨らんでいきました。当日は、緊張している様子もありながら、自然と笑顔がこぼれ、生徒達も優しい気持ちで利用者さんに接していました。思いが通じる嬉しさや、人の役に立つことへの達成感を、一人一人が実感することのできる豊かな活動となりました。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- ありがとうございます。よい機会を設けていただき、元気ができました。機会があったら、またお願いします。
- 皆さんと歌を歌ったり、ゲームをやったりして楽しかったです。生徒さんの一人がうちの孫と同じ年だから、余計に楽しかった。
- とてもよかったです。生徒の皆さんが、みんな元気で大きな声を出して、みんな喜んだので、とってもよかったですと思いました。

介護主任

今回このような交流会は施設でも初めてのことでした。最初はどのような内容にすれば良いか悩みましたが、事前の打ち合わせと生徒さんの準備のおかげで楽しい交流ができたと思います。初めは生徒さんも緊張した表情でしたが、ゲームが進むにつれ楽しそうな表情をされていたのが印象的でした。ご利用者様も大変喜ばれていらっしゃいました。



紐を引っ張ってペアを決める



お別れはがっちり握手で

■ 実施までの経過 ※(コ):コーディネーター

8月26日 江東特別支援学校にて学校と(コ)、打合せ。(コ)、高齢者施設3施設提案

9月22日 (コ)、らん花園を訪問し、概ねの内諾を得る。

9月26日 (コ)、他施設への問合せ結果を伝え、学校と協議の上、らん花園での活動を決定する。

10月7日 らん花園にて学校、施設、(コ)の3者で打合せを行う。

10月17日 電話及びファクシミリ等にて、当日の打合せを実施する。

10月19日 当日、開始1時間前に学校、施設、(コ)の3者で最終打合せを行う。

交流先



社会福祉法人爛柯会 特別養護老人ホーム
らん花園

住 所:東京都江東区塩浜2-7-2

■ 施設概要

- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 定員100名
- 短期入所生活介護事業(ショートステイ) 定員20名
- 通所介護事業(デイサービス) 定員25名
- 認知症対応型通所介護事業 定員12名
- 長寿サポート塩浜(在宅介護支援センター)

教育課程上の位置付 特別活動(学校行事 勤労生産・奉仕的行事)

実施概要

当校は、小学部・中学部・高等部を設置した地域型の知的障害特別支援学校で、昭和53年の開校から地域との連携に力を入れ、夏祭りなどを通じて地域との交流に努めています。

高等部の社会貢献活動としては、地域の小学校や当校周辺の清掃活動の他、作業学習のリサイクル班がコンビニエンスストアを回ってペットボトルやアルミ缶の回収、洗浄などを行っています。

今回は、高齢者に対する社会貢献活動として、高等部特別活動の位置付けで、初めて、地域の高齢者施設との交流に取り組みました。

デイサービスセンターひばり福寿苑は、定員27名の通所介護施設で、当校から徒歩圏にある施設ですが、これまで交流はなく、初めての交流活動となりました。



ボールがどこに来て私たちが拾います

活動報告

実施日：11月22日(火)

今回は、初めての高齢者に対する社会貢献活動であり、また、対象が近隣の施設であることから、継続的な交流活動の可能性を意識して、「普段の授業の取組みから何ができるか」という視点で、生徒の歌を中心とした社会貢献活動に取り組むことにしました。

まず、発声練習「あくびの歌」に施設利用者にも参加いただき、一体感が生まれるようにしました。次に、「歓喜の歌」を披露、その後、配った歌詞カードを用いて利用者と共に合唱しました。

ゲームはテーブルボウリングを行い、施設利用者と生徒がふれあい交流をできるようにしました。

生徒による社会貢献活動という趣旨から、倒れたピンを数える、点数を付ける、元に戻すなど、生徒が積極的に運営に係わり、利用者を楽しんでいただけるように努めました。

活動参加者 当校 生徒…11人 引率教員…3人
内訳 交流先 利用者…16人 担当職員…7人

交通手段 当校とひばり福寿苑の距離はおおよそ260m
徒歩で5～6分

当日のスケジュール

- 13:30 学校・施設・さわやか青少年センター・都教委、4者打合せ
- 14:00 生徒による始めの挨拶と1人ずつ自己紹介
- 14:05 生徒による発声練習「あくびの歌」披露。
- 14:13 生徒による合唱「歓喜の歌」
- 14:18 施設利用者と一緒に合唱「世界に一つだけの花」
- 14:25 <ゲームの時間> テーブルボウリング
- 14:53 終わりの挨拶(生徒代表、担当教員) 終了

活動のために準備したもの

- 当日のプログラム・歌詞カード ● 歌詞の拡大コピー
- 司会担当の原稿

工夫したところ

- 高齢者と一緒に合唱する時には、高齢者の間に入って、一緒に歌うようにした。
- ゲームは、普段、高齢者施設で実施しているゲームから選んだ。

実施にあたって注意したところ

- 普段の授業で取り組んでいることを取り入れ、生徒や教員が取り組みやすい活動内容にした。
- 事前に当日の流れの通し練習を行い、生徒たちに見通しをもたせた。

良かったと思うところ

- 高齢者の方々が、温かい雰囲気の中で生徒たちを迎えていただけたことで、生徒たちも過度に緊張することなく実施できた。
- 歌だけでなく、ゲームを取り入れたことで、高齢者と生徒との距離感が一層、近づいた。お互いに応援する場面が見られた。

今後に向けての学校からの抱負

- 高齢者のために何ができるか、何をすれば楽しんでもらえるのかなど、生徒たちが考え、生徒たちが中心となり内容の選定からかわっていけるようにするために、可能な範囲で複数回実施していきよう計画していく。
- 高齢者施設での社会貢献活動に参加していない教員に対して、今回の内容を報告し、生徒の様子等を伝え、今後も継続して実施できるようにする。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- 高齢者の方と一緒に歌やゲームをすることができて、楽しかった。
- 高齢者の方と話をして、楽しかった。
- テーブルボウリングを高齢者の方と一緒にやれて楽しかった。

教員

今回の社会貢献活動は、生徒たちにとって、「人のために何ができるか」、「何をすればよいのか」など、生徒一人一人が考えて、行動する経験を積むことができるよい機会であった。
普段の授業では学ぶことのできない貴重な体験であると感じた。また、高齢者の方にとっても、一緒に歌を歌ったり、ゲームをすることを通して良い刺激を受けているように感じた。最後に、生徒たちの普段の様子とは違う、新たな一面が見られ、生徒理解が一層深まった。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- 学校がすぐ近くで、いつも歌声は聞いていたんです。彼らが歌っているんですね。本当に嬉しい。とてもよかったです。良い声で、上手ですね。
- 自分の孫が歌っているようで、本当に良かった。ありがとうございました。
- こんな機会は本当に無くて、来ていただいて会話してもらって、本当に良かった。
- 本当に今日は良かった。自分たちもまた、新しくなるような気がした。また、来てください。

所長

今回はこのような機会を設けて頂き、とても感謝しております。生徒さん達の純粋な笑顔に、利用者様達はとても元気を頂いたようです。また、生徒さん達と一緒に歌い、体を動かし、交流する事で日頃は感じられない刺激を頂き、心身の活性化が図れたと思います。今後も交流を続けていけたら幸いです。



最初は少し緊張しながらも、良い声のでている



3曲目は、利用者さんを囲んで、一緒に楽しく

■ 実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 8月29日 当校担当教員と(コ)、当校にて第1回打合せ。
- 8月30日 当校、当事業の対象として施設と町会を検討し、高齢者施設に決定。
- 9月5日 当校担当教員と(コ)、当校にて第2回打合せ。(コ)、授業見学。
- 9月6日 (コ)、ひばり福寿苑に所長を訪ね、協力を依頼。快諾いただく。
- 9月14日 当校担当教員と(コ)、施設所長を訪ね、施設の状態、実施場所を確認し、当校の社会貢献活動の概要を決める。
- 10月31日 当校担当教員と(コ)、施設所長を再訪し、ゲームを検討、具体的内容を決定した。その後、担当教員、施設所長及び(コ)で詳細を詰め、当日に至る。

交流先



株式会社ひばりケア
デイサービスセンターひばり福寿苑

住 所：東京都中野区南台3-23-7

■ 施設概要

- 通所介護事業(デイサービス) 定員27名